

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実習	6	2	デザイン	必修	なし

1. 学習の到達目標

工業の各分野（デザイン）に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。2年次は基礎デザインの実習の中でも観察と表示、表現の技法、平面構成、コンピュータグラフィック等を行うものとし、さらに必要不可欠な構成の学習を加えた基礎構成の実習とする。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	課題の趣旨に関心を持ち、早く丁寧な作業ができるように意欲的に取り組むことができる。	課題の提示から提出まで制作過程を、計画的な判断のもと取り組むことができる。	道具の正しい使い方を理解し、表現に合わせて適度に応用しながら使用することができ、イメージ通りの表現ができる。	課題の条件を正確に理解して制作し、合評会において学習した知識を生かすことができる。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、提出物の状況、提出課題などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

1年生では幾何形体による基礎構成と配色計画について学びましたが、2年生では、観察から表示、平面構成（具体物を使った構成や、抽象的なイメージ表現）、イラストレーション、小型グラフィック、コンピュータグラフィック等を学びます。また、課題の中で様々な表現方法も学んでいきます。

2年 実習 年間指導計画表

単位数（6単位）

目標	工業の各分野（デザイン）に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。		
月	大項目	中項目	時数
4	モチーフ構成	人工物のモチーフ構成1	18
5		人工物のモチーフ構成2	24
6	モチーフ構成	自然物のモチーフ構成1	21
7		自然物のモチーフ構成2	21
9	さまざまな技法演習	スパッタリング、等のモダンテクニックを使ってサンプリング	24
10	イメージ構成	音楽を聴いてそのイメージを表現する。	24
11	表紙絵デザイン	イラスト+文字組	30
12	ポスター	有田陶器市ポスター	
1	進級課題	スーパーリアリズム	48
2			
3			